



高麗中学校だより

日和田

令和5年・11月号

文責：大里 治泰

学校教育目標 よく学び 心豊かに たくましく

ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！

自分を見つめ 考え 選択する11月

3年生は進路選択に向けた三者面談、2年生は立志式に向け、自分の将来の夢や職業、高校進学などを具体的に考える時期となりました。そこで、それらを実現するプロセスの一つを紹介します。

- Step1 将来こうなりたい という気持ちを強く持つ
- Step2 それを口に出す 人に伝える 有言実行
- Step3 ゴールから逆算して今やるべきことを設定する
- Step4 今やるべきことを嫌いでも苦手でも実行する

夢や目標は偶然実現するものではありません。考え、選択し、行動することからしか実現しません。仮に勉強が嫌いでも、夢の実現のために勉強する必要があるれば、あれこれ迷わず勉強する。これが、実現の秘訣です。大いに悩むことは必要です。悩んで悩んで、自分なりの選択をしましょう。



熱くミラクルな体育祭

10月7日、遅刻・欠席・見学ゼロ、全員参加で体育祭を行うことが出来ました。9月中旬からコロナやインフルエンザ感染が増え、怪我等を抱えた生徒もいる中で、127名が体育祭当日にきっちりと体調を合わせる事ができました。一番感動したミラクル！

また、陸上競技県大会レベルの華麗なバトンパスでつながりレー種目など、見応えのある競技の数々。応援団長を中心に熱く演じた応援パフォーマンス。それらを通して、平素の自分の殻を破る「ミラクル」が高麗中生一人一人にあったに違いありません。

保護者の皆様の熱い応援に支えられ、素晴らしい体育祭になりました。感謝します。

勢いが止まらない

発明創意くふう展に出品した作品が全国展へ。それに続き、納税作文が川越税務署長賞受賞（一日署長も任命）、日高市青少年の主張大会へ2名出場(中学校出場枠6名)、イラストグランプリ関東ブロック入賞など、ミラクルの勢いが止まりません。

高麗中生が時間を上手に生み出し、様々なことを体験し、挑戦していることがミラクルな結果につながっていると考えられます。好奇心を持って何かを始める。例えば、自然に触れる、読書をする、音楽を聴く、ランニングや筋トレで汗を流す中から何かが見つかるかもしれません。それがミラクルにつながっていきます。さあ、何を？

高麗の風景

・伝統文化の継承の主役は…

10月19日は高麗神社の例大祭。獅子舞の奉納では高麗中生が笛や獅子舞に大活躍。長時間にわたる演技に疲れも見せず頑張っていました。少子高齢化は高麗地区も例外ではありません。しかし、高麗中生の演じている姿を見ているとそんな杞憂も吹き飛んでしまいました。地域の伝統をつなぐ、人の心をつなぐ。高麗中生に未来が託されています。

・こんなところに気付く感性

体育祭に向け、生徒、教員、保護者、地域の皆で取り組んだ校庭の草むしり。体育祭当日はラインが引き締まる素晴らしい校庭になりました。体育祭後、昼の放送で「南校舎南側の雑草を綺麗にしたいので協力できる人はお願いします。」と呼びかけがあり、あっという間に綺麗になりました。誰の発案？こんなところに気付く感性を大切にしたいですね。